

別記様式（第2条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	庁 議
開 催 日 時	令和4年8月24日（水）午後2時20分～午後2時55分
開 催 場 所	301会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者：市長、副市長、企画財政部長、総務部長、市民部長、協働推進部長、協働推進部環境担当部長、健康福祉部長、健康福祉部高齢・障害担当部長、子ども家庭部長、都市整備部長、都市整備部建設管理担当部長、教育部長、教育部学校教育担当部長、議会事務局長、会計管理者 欠席者：教育長 説明員：環境課長
議 題	1 ゼロカーボンシティ宣言（案）について 2 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1：原案を一部修正の上、決定とする。 議題2：特になし。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発言者） ○印=構成員 ●印=説明員	議題1 ゼロカーボンシティ宣言（案）について （環境担当部長説明） 本宣言（案）の策定趣旨と策定経過について説明する。 近年、世界規模の異常気象により国内でも豪雨や台風による甚大な被害が発生しており、地球温暖化の進行による影響は極めて深刻な問題と捉えている。 地球温暖化は、我々人間の営みが原因で進行しているといわれており、二酸化炭素などの温室効果ガスの発生をできる限り抑制するよう、脱炭素化に向けた行動を早急に行う必要がある。 このため、2021年に開催されたCOP26では、「産業革命以降の世界の気温上昇を1.5℃以下に抑えることを事実上の目標とする決意」が示されており、我が国においても、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルを目指すとしている。 本市においても、長期総合計画及び環境基本計画に地球温暖化対策を掲げ、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、この計画に基づき、公共施設照明器具のLED化、庁用車における電気自動車の導入、太陽光発電設備の設置、新エネルギー利用機器等設置費用の補助事業などに取り組んでいる。 しかし、現在の気候変動危機に対応するためには、行政のみならず市民・事業者が一体となって現在起こっている気候変動の危機を

共有し、さらに取組を加速して推進していく必要があると判断したことから、本市においても2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことについて、令和4年第3回市議会定例会で市長から宣言を表明する予定である。

本日はその宣言文の内容を決定するため、庁議に付議させていただいたため、御審議いただきたい。

具体的な内容については、環境課長から説明申し上げる。

(環境課長説明)

ゼロカーボンシティ宣言(案)について説明
—説明省略—

(質疑等)

○ 宣言案の中で、「カーボンニュートラル」と「ゼロカーボンシティ」という文言があるが、二つの意味合いは異なるのか。

● 国が示した宣言の内容をそのまま記載したものだが、「カーボンニュートラル」も「ゼロカーボンシティ」も内容としてはほぼ同一である。

○ 「カーボンニュートラル」と「ゼロカーボンシティ」は、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするのか、それとも、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするのかで使い分けをしていると思ったのだが、この点についてはどうか。

● 国は、「カーボンニュートラル」という文言を使っているが、「二酸化炭素を主とする温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指す」という意味合いで使っている。

近年の傾向では、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指すものとして「ゼロカーボンシティ」という文言を使用していることから、「カーボンニュートラル」と「ゼロカーボンシティ」では、意味合いが若干異なる。

ただ、目指しているものについてはいずれも同じである。

○ 宣言内容の中に、国と市の表現があり、あえて使い分けをしているように見てとれるので、それぞれの違いは説明できるようにした方が良い。

● 宣言文の中には、国の動向を背景として記載した方が良いと考えていることから、国が発表している内容をそのまま活用させていただきたい。

○ 資料2は、環境省のホームページに記載されている内容の一部抜粋だと思うが、この上段に、「環境省としては、2050年にCO

	<p>2（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体をゼロカーボンシティとしている。」と整理していることから、本市の宣言内容については、宣言案のとおりで良いと考える。</p> <p>○ 資料4の宣言案において、三段落目で、個別の事業がいくつか記載されているが、これらの事業が何のために取り組んでいるものなのかが、明確にはなっていないため、「新エネルギー利用機器等設置費用の補助など、温室効果ガスの排出抑制等に取り組んでおりますが…」とした方が良いと考える。</p> <p>● 修正する。</p> <p>○ 四段落目の一行目に、「環境への負荷を抑え、我々の子ども、孫の世代により良い環境と未来を残すため、…」という文言があるが、もう少し先の世代も含めた方が良いと考えるため、「環境への負荷を抑え、次世代により良い環境と未来を残すため、…」とした方が良い。</p> <p>○ 次世代だと、「子供の世代まで」というイメージがある。</p> <p>○ ゼロカーボンシティについては、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを旨とするものであるため、30年後に目標達成を目指しているのであれば、「我々の子ども」や「孫の世代」など、具体的な表現の方が良いと考える。</p> <p>● 宣言案のとおりとさせていただければと思う。</p> <p>(結 論) 原案を一部修正の上、決定とする。</p> <p>議題2 その他 特になし。</p>
--	--

<p>会議録の開示 ・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非 開 示（根拠法令等：)</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>企画財政部 企画政策課（内線：372）</p>
--------------	----------------------------

(日本産業規格A列4番)